

7. 自由記述欄に書かれたご意見ご要望に対する福島第三自治会の考え (順不同)

- (1) 組長は総会出席・回覧板・集金・夏祭り手伝いの仕事があるが、それ以外にも防災訓練・町内清掃・草取りなどの自由参加の活動を仕事として割り当てるといいと思う。自由ではかえって参加しづらい。
⇒アンケート結果を踏まえ必要な時は参加要請するようにします。
- (2) 総会受付で新旧役員だけと言われた。帰ると言ったら参加できたがすっきりしなかった。
⇒総会には会員すべての人が出席する権利があります。不愉快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。今後気を付けます。
- (3) 行政担当者と顔なじみになることも大切だが、会員相互の顔なじみが先ず大切ではないか。回覧板による周知だけでなく最近の詐欺事件・防犯・健康管理などついて顔を合わせて周知し、自治会活動の楽しいこと・苦しいことを語り合うことが自治会活動を理解する場になる。
⇒皆さまご多忙で会議の日程調整に苦慮しているところですが、ご提案は理解できます。いろいろな機会を利用し自治会活動を理解していただくよう努めます。
- (4) 以前親子で運動会に参加したが、子ども会でどの種目にどの子が出ると前もって決まっているようで、突然の参加が迷惑だったようなことを言われた。それ以来自治会の行事に参加してよいのか躊躇している。⇒前掲4頁
- (5) 運動会は子供と高齢者が主体で全体的に参加しにくい。
⇒前掲4頁
- (6) 子育て中でもあり自治会になかなか参加することができないが、何かあった時にはご近所の方がいて下さるという安心感で自治会に加入している。
⇒会員の皆さまのご協力を得てご期待の沿えるような自治会となるよう努力します。
- (7) 輪番制は理想と思うが高齢に伴い体力的な負担を感じるため、できれば協力できる人を募りその人たちを中心に活動していただけたらと思う。
⇒協力員制度を拡充したいと考えています。
- (8) 行事や活動など自由参加であるか参加義務があるかが分かりづらい。組長などが回ってきたときなるべく参加ということが多いのでしょうか？ 年間予定で人数を集めたい行事などの一覧があればよいと思う。
⇒年間予定表は総会議案書(総会に出席された方に配布また閲覧を希望された方にはお届けしています)とホームページに公開しています。組長さんには総会時に最低限お願いしたいこととできる範囲でお願いしたいことをお伝えしています。
アンケート結果を踏まえ今後は協力をお願いしたいときは活動内容により評議員さん、組長さん、協力員さんあるいは全会員の皆さまに参加要請いたします。

(9) 参加者の名前や役職が分からないため声をかけにくい面がある。会議の際も円卓のように机を配置したほうがお互いの顔が覚えられる。

⇒活動開始時のミーティングの際に自己紹介の時間を取るよう心がけます。また会場や参加人数によりますが可能な限り円卓会議方式にします。

(10) 活動参加者が集まらないのは一度参加すると今後も参加し続けることになると思っている人もいるのでは？

⇒主催者としては内心参加してくださる方に次も期待するところがあります。しかし皆さまご都合がありますのでできる範囲での参加をお願いします。

(11) できるだけ活動を減らし会員の負担を少なくし会員減少を防ぐ。組長でも仕事のある人は負担が多すぎる。

⇒過去にこのようなご意見が多かったことからこれまで活動は原則自由参加としてきました。このアンケートも活動の見直しや取りやめの判断材料とするため実施しました。ただアンケートの回答に自由参加では参加しづらいとのご意見もありますので、今後必要な時は参加要請いたしますが可能な範囲でご協力をお願いします。

(12) 活動参加者を増やすには…回覧板を回す時間に左右されずメールなど後日でも連絡できる方法も加えると参加しやすい。

⇒お知らせ等にはメール連絡可能なことを付け加えます。

fukujima3@mbr.nifty.com の受信者は福島第三自治会 三田 肇です。

(13) 退会者を減らすには…高齢・介護以外でも、困難と思われる場合は外したり数年後の人と交代したりすれば、できないから退会となることを防げる。

⇒ご提案の方法を取りやすいようアンケートで皆さまのご意向をお聞きしました。事情がある世帯の役割免除や後回し、組の再編には過半数の賛同が得られました。

(14) 世帯数が10以上の組は見直してほしい。

⇒構成員の皆さまの合意が得られれば分割してもよいと考えます。

(15) 協力員登録について…現在の状況（子育てと離れて暮らす親のこと）では登録できない。毎年このようなアンケートがあるとよい。

⇒メール等で随時登録できるようにいたします。

(16) 町内清掃について…毎月1回あるいは隔月または年1~2回自治会・子供会・老人会・婦人会等の現存する団体が一体となって各居住地周辺の道路清掃をしては。

⇒これまで自由参加であったため会員の参加が得られず、ここ数年町内清掃は役員のみで実施してきました。そのため今年平成30年は実施を見送りました。

今回環境美化活動に協力員登録して下さった方がいらっしゃいますので、来年の市内クリーン運動期間中に町内清掃を復活実施したいと考えます。

(17) 災害時に自治会が中心になって復興事業を進めていることをテレビなどの報道で見聞きすると、自治会の役割は大きいし大切だと思います。ただ高齢者が中心になるのは気力体力ともに難しいと思われまます。子育て世代の方々がPTAや子ども会を通して自治会にもっとかかわって下さるとよいのですが。忙しい人たちに負担をかけるのですから、多少の予算を取ってボランティア費用を支払ってもよいと考えます。ガソリン代・通信費・活動時間に対するお礼など十分とはいかなくても何らかの感謝の気持ちを表せたらと思います。そのために自治会費を値上げしてもよいと考えます。

⇒事務局の仕事をボランティアが担ったり大きな組織では事務局員を雇ったりしているところがあります。提案された手法について研究します。

(18) 高齢で輪番役が大変です。自治会費集金に何回も行かないと会えない。回覧板を回すのはいいが集金が苦になります。退会したい。

⇒組長さんが会費集金で何度も足を運んでいる現状は承知しています。そのため輪番役免除や組の再編を推し進めたいと考えています。

(19) 仕事がありなかなか協力できません。協力員登録するのは構いませんが、約束時間に出ることが難しく、迷惑をかけるのではないかと心配です。もし自宅でできることがあればお手伝いできますのでお話しいただければと思います。自治会を中心に地域の協力やまとめ、助け合いはとても大切なことと思っています。

⇒自治会運営のうち例えば事務業務などは自宅で時間があるときに処理可能と思います。個別に調整させてください。

(20) 小さな自治会は会員及び役員の負担を少なくすべきと思います。回覧板の配布も会員だけでよいのか疑問。住民全員への周知となれば自治会ではなく市の役割を増やすべき。市の広報などは各戸へ配布しているので公的な広報と回覧板の周知はまとめて行ってはどうか。また祭礼や盆踊りは好きな人は多いと思うが、楽しむ人と世話する人が別々では世話する人は負担でしかありません。愛好家の自主運営とし世話する人がいなければやめるべき。

⇒回覧板の件は自治会と行政との話し合いの場「エリアミーティング」に課題提出いたします。活動運営手法については協力員登録制を推し進めたいと考えます。

(21) 組長の活動が仲よし・顔見知り同士でできると参加するときのハードルが下がる。組長でなくても同じグループの中で役割分担するなどして負担を減らせないか。一年間のスケジュールを前年度に出し参加できるものに記名するなど…。

⇒協力員登録制を推進していきたいと考えます。

(22) 自治会の活動が多いと子供の行事などと重なり参加が難しい。参加しないと周りの方々に迷惑をかけるので活動の幅を小さくするのもよいと思う。地域活動は大切なことなので少しずつ参加できればと思う。

⇒このアンケートの集計結果をみて活動内容の見直しや取りやめを検討します。

(23) ①活動参加者が集まらない理由

高齢化により活動参加がきつい。定年後再雇用で仕事を継続している人が多い。年金が少ないため高齢者も働きに出る。若い世帯は父親は遅くまで残業、母親は子供の世話・塾・習い事があり忙しい。共稼ぎ世帯が多い。活動に参加できる時間と余裕がなくなっている。行事が若者世帯には受けない。

②会員の減少に歯止めがかからない理由

会費を払っていても高齢のため活動に参加できない。若い世帯が近所とのコミュニケーションを重要としない。仕事を持っているサラリーマンにはかなりの負担。自治会の必要性が分からない。

③役員のなり手がいない理由

自治会活動で時間をとられてしまうと自分の本来の仕事に支障をきたす。行政担当者と顔なじみになれることがメリットと思わない。新しい人が加わっても顔なじみの人が仲間意識で回しているので入りづらい。役員は奉仕の精神がないと努められない。いろいろな面で余裕がないと役員になれない。

- ・自治会活動はコミュニケーションの場であり防犯・災害等緊急時の協力体制で必要ではあるが上記①②③の理由と現状の自治会運営のギャップをなくさないとする人でやる人がいなくなる。人が協力したころと現在の変化点を比較し原因をつきとめる必要がある。高齢化少子化の中で高齢者は活動参加がきつく、若者世代は仕事で余裕がなく、今まで通りの活動を続けるのは難しい。活動内容を縮小、役割を根本的に見直すことが必要では。現状の活動を2割減らすとか、準備を2割減らすとか、時間を2割短くするとか、回覧はインターネットを利用しネットが使えない人だけに配布するとか、この活動に参加すると凄まじい景品が当たるとか（人集めのネタ）。

⇒多くのご提案ありがとうございます。今後の自治会運営の参考とさせていただきます。

(24) 回覧板は月1回で十分。必要ないものが多すぎる。回すのが手間。掲示板の活用を併用。

お知らせはホームページで見られるようにして随時更新してはどうか。回覧は基本希望者だけに限定。

⇒自治会を含め関係機関は会員の皆さまにとって必要と思われる情報をお知らせしています。ただ学校からのお知らせが半月遅れのため学校には申し入れをしましたが、こちらの都合だけで発行日の変更は難しいようです。構成員の皆さまの合意が得られれば回覧板は月1回でもまた不要と判断したものは回覧しなくても構いません。お知らせをホームページに掲載することについては現在福島第二自治会がWeb回覧板と呼んで回覧物をホームページに公開しています。皆さまのご意見ご要望をお聞きした上で対応したいと考えます。

(25) 組分け制度の必要性が疑問。古い時代の悪しき慣習。何かあるたびに手伝いに行ったり顔を出したりするのが煩わしい。1組何世帯にするのではなく組分けされること自体面倒。災害時だけのグループ分けで十分。

⇒組分けは自治会運営を円滑に行うための手段で古い時代の隣組とは異なります。

同じ組の中の一部の人が冠婚葬祭のお付き合いをするということが主流になっています。

(26) 市民が同じことを求められて皆ができるわけではない。またこれまでの自治会活動が市民のニーズに合っていたのか疑問。これを機会に自治会のあり方を見直すべきと思う。

親睦行事は任意の参加でなければ市民の賛同が得られなくなっている。祭礼や運動会・子供会や

老人会の活動を含めて地域のコミュニティは自治会主体ではなく地域で同じ意思を持って集まった任意の有志グループや民間法人へ委ねたらいかがか。真にその活動が望まれるなら参加者は自然と増えていくものと思う。今後自治会は親睦の機能を有志グループや民間法人に委ねる方向がよいと思う。

また防犯防災や環境美化等市民生活の上で必要な機能は本来行政の責任において推進すべきものと思う。これまでの自治会運営はボランティアで成り立っていたがそれを期待できる時代ではなくなりつつある。自治会費を市民税に上乘せする等市民税を引き上げても地域社会に必要な機能を担う人材（従来の自治会役員等）は市が報酬を支払うシステムへ移行してほしいと思う。特に高齢者の活用により生きがいと経済的利益を得る機会となれば健康寿命を延ばす政策として価値あるものといえるのではないか。市に対して提言の価値があると思う。

⇒自治会が進むべき方向を示唆する提言有難うございます。今後の自治会運営の参考とさせていただきます。また行政と自治会が話し合う場「エリアミーティング」に課題提出いたします

(27) その他

- ・ 介護に時間を取られ最低限のお手伝いしかできませんがよろしくお願いします。
- ・ 病氣療養中で申し訳ありません。
- ・ 高齢で病氣や怪我が多く、体調が万全でないため欠席することが多く申し訳ありません。
- ・ できる範囲で協力したい。
- ・ 現在は仕事があり時間に追われ活動参加は難しい。いずれは何かのお手伝いはしたい。
- ・ 無理なくできる範囲で協力させていただきます。

⇒自治会活動にご理解をいただき有難うございます。皆さまのご事情に合わせた範囲でのご協力をお願いいたします。